

共生・協働の農村づくり運動

～人と自然と地域が支え合う みんなで創る農村社会～

むらづくり通信

VOL14

地域に根差したむらづくり
～南九州市川辺町高田村づくり委員会～



村づくり委員会総会（高田の名水の清掃作業後）



農業体験で都市と農村の交流



地域資源の水くみ場を観光資源として活用（高田の命水）

県では、農村の活性化を目指し「農村集落の再生」「新たなむらづくりの形成」「むらづくりの維持・発展」を図るため、地域の資源を活用し、NPOや都市住民など地域外の活力も取り入れた「共生・協働の農村（むら）づくり運動」を推進しています。

県内各地で、地域の特色を生かした取組が行われ、全国の表彰事業である「農林水産祭むらづくり部門」で、これまで天皇杯を7地区で受賞（全国1位）しています。令和2年度は、高田村づくり委員会が農林水産大臣賞を受賞しました。



鹿児島県農政部農村振興課



令和2年度 豊かなむらづくり全国表彰事業
農林水産大臣賞 受賞
たかた
高田村づくり委員会(南九州市川辺町)



豊かなむらづくり全国表彰事業
九州ブロック表彰式
(令和2年12月18日 熊本地方合同庁舎)

地区の概要

- ①総人口 762人
- ②総世帯数 367戸
- ③農家戸数 75戸
- ④主要作物等 水稻, 大豆
(R2.3.31 現在) さつまいも
飼料作物



高田三世代塾によるこいのぼりあげ



高田村づくり委員会

位置図

～夢の里たかた 地域に根差したむらづくり～

■取組の特徴■

農村を持続させる体制づくりと、地域資源を生かした住みよい環境づくりで「人が人を呼ぶ」新たな循環を創出しています。



スマート農業(自動操舵システム)の取組による地域農業の維持・発展



地域ぐるみで子ども達への食農教育支援



「そば処案山子」で女性が役割発揮



森の学校での収穫祭で高田の魅力情報を発信



さつまいもを使った菓子加工品



短大生と連携した畑作物栽培加工プロジェクトの取組



地域農産物を活用したメニューや加工品を販売



オーナー制度による都市住民との交流



空き家再生による移住者の確保



地域の石切場で国際彫刻シンポジウムを開催

令和元年度共生・協働の農村づくり運動表彰事業

県では、地域資源等を活用した魅力あるむらづくりに取り組んでいる地区等を表彰しています。

受賞地区の活動内容の詳細については、県ホームページに掲載しています。

○ 令和元年度は、農村集落部門の3地区、功労者部門の1名を表彰しました。

【農村集落部門】	田代自治会（日置市）
	北山校区コミュニティ協議会（始良市）
	田尻自治公民館（長島町）
【功労者部門】	大藺秀己氏（南九州市）

農村集落部門

田代自治会（日置市）

各種団体との連携や話し合い活動によって、「農事組合法人田代ビレッジ」を設立し、高齢者等から農作業を引き受け、農地の荒廃防止に取り組んでいます。

主な取組

- 集落営農法人等と連携した農地保全への取組
- 中山間集落協定組織等と連携した集落ぐるみの鳥獣被害防止への取組
- 地区主催の田代集落振興大会や伝統芸能の継承など、地域住民が主体となったむらづくり活動の展開
- Iターン者を中心とした、地域の保育園と合同で実施する夏祭りの開催



地域の環境活動の一環である花壇づくり

北山校区コミュニティ協議会（始良市）

住民の活発な話し合いと総意に基づき「北山校区まちづくりプラン」を作成するなど、地域の維持・発展を目標に、地域一体となりむらづくりに取り組んでいます。

主な取組

- 地域住民の総意に基づいた「北山校区まちづくりプラン」の策定と実践
- 近隣の公共施設や学校等と連携し、地域資源を活用した各種イベントの開催による都市農村交流の展開
- 地元の食材を活用した特産加工品販売への取組
- HP等を活用した地域の魅力の情報発信による人口増加への取組



地域資源の竹を利用したスタードーム（イルミネーションが輝く師走の祭典）

田尻自治公民館(長島町)

田尻自治公民館の内部組織である「田尻地区の自然を守る会」を中心に、農家と漁家がともに発展することを目指して、地域内の農地・農業用水等の資源や、農村環境の良好な保全等に取り組んでいます。

主な取組

- 自主財源による共同利用機械(深耕機)導入や土壌診断マップの活用による主要作物(ばれいしょ)の生産性向上への取組
- 農業委員、農地利用最適化推進員等と協力した担い手への農地集積
- 深耕や景観作物(ひまわり)栽培を通じた海洋への赤土流出防止への取組による農業とあわせた漁業の振興
- 漁業等との兼業も視野に入れた後継者への定着支援



功労者部門

大藺 秀己 氏

- 昭和63年 川辺町人材養成塾「川辺ぼっけもん塾」
初代塾長に就任
- 平成17年 集落営農組織「田部田農業機械利用部会」
会長に就任
- 平成23年 鹿児島県で初の田んぼアートに取り組む
- 平成26年 集落営農法人「農事組合法人たべた」理事に
就任
- 平成28年 全国田んぼアートサミットin南九州市を開催
- 令和元年 「農事組合法人たべた」代表理事就任
- 〃 鹿児島県地域貢献活動表彰(春)を受賞

主な功績

- 地域のリーダーとして話し合い活動の推進役となり、集落全体で継続できるむらづくりを実践
- 県内初となる田んぼアートに取り組み、田植え等各種イベントの開催を通じた都市農村交流による地域活性化に貢献
- 集落営農組織の設立、法人化へ尽力
- 各地域との情報交換や実践指導によるむらづくりの人材育成等への取組



むらづくり活動の取組事例の紹介

県表彰事業推薦地区

早馬集落営農組合(南大隅町)

- 担い手の確保・育成や地域の活性化を図るため、平成10年度から水田の基盤整備を実施
- 中山間地域等直接支払交付金(H12～)への取組をきっかけに話し合い活動が活発化し、早馬集落営農組合を設立
- 直売所「早馬元気市」を開設し、集落でとれた農作物の販売、地域住民の交流の場を確保

とうべ

当部集落茶処あがりまた(天城町)

- 高齢化・人口減少が進む集落の憩いの場、情報発信の場として空き家を改修し、「茶処あがりまた」を立ち上げる
- 集落の女性が中心となった郷土料理の伝承、地産地消に寄与
- 当部集落の魅力の発信や憩いの場として交流人口が拡大
- Iターン者と連携した情報発信や子ども達への伝統文化の継承にも取り組む

鹿児島大学と連携したむらづくり活動

～大学と地域が連携し、農村資源を生かした地域活性化へ向けた方策を検討～

実施地区:南九州市川辺町古殿地区

大学による地域農業や地域資源の実態調査

- I 住民、世帯の意向調査
 - ・ 農地の所有と利用状況
 - ・ 生活やコミュニティ機能の実態と課題
 - ・ 地域活性化へのニーズ
 - ・ コミュニティビジネスへの意向 など
- II 現地調査、組織等への訪問インタビュー
 - 集落営農組織「どんどんファーム古殿」
 - 交流拠点「であえーどんどん亭」
 - ・ 地域資源の活用実態
 - ・ 農産物及び加工品の販売状況 など

大学からの地域活性化方策の提案

- 持続的な地域営農のあり方(集落営農の継承)
- コミュニティ食堂の活性化方策
- 集落営農が取り組むコミュニティビジネスの提案 など



農地の利用状況調査



地区内を歩き、地域資源を調査



農村食堂「どんどん亭」のプロモーション動画を作成



どんどん亭で販売している地域食材を活用した弁当や加工品について調査

棚田地域の取組紹介

やえ 八重の棚田(鹿児島市)

- 棚田の利活用による地域の活性化を図るため、八重地区棚田保全委員会が中心となり、棚田保全活動や農業体験イベントを実施している。
- 地域が高齢化する中、農地を保全するため、棚田オーナー制度を開始(H19～)し、田植え、草取り、稲刈り等を実施。
- 都市住民との交流を図るため、米やそばづくりの農業体験イベントを実施している。



棚田オーナー制度

こうだ 幸田の棚田(湧水町)

- 江戸時代に開墾されたといわれる棚田を保全するために幸田地区棚田保全対策委員会を中心に地域住民一体となり、農道や水路等の維持管理等に取り組んでいる。
- 都市住民との交流や保全活動への理解を促進するため、毎年、初秋に棚田ウォークin幸田を開催している。
- 農業の理解促進のため稲刈り体験を実施している。



ウォークin幸田

たぶがわ 梶川の棚田(屋久島町)

- 梶川地区農地資源・農村環境保全会を中心に農道や水路等の維持管理や農地保全対策のため、薬用作物の栽培に取り組んでいる。
- 先祖が残してくれた棚田への感謝と今後の保全を祈り、稲刈り後の8月末に棚田まつりを開催。棚田の畦道に設置した灯籠が幻想的な風景を演出し、地域外住民との交流が図られている。



棚田まつり

水土里サークル活動の紹介

みのり 美農里の台地西原(鹿屋市)

- 水土里サークル活動組織として、農地や集落の環境保全に取り組んでいる(H26～)。
- 地域に伝わる伝統芸能「棒踊り」の継承活動に取り組んでおり、地区の福祉施設での披露も行っている。
- 幼稚園児を対象として、かんしょの植え付けから掘り取りまでの農業体験を実施している。



あさとく 秋徳の畑と水と緑を守り隊(瀬戸内町)

- 水土里サークル活動組織として、農地や集落の環境保全に取り組んでいる(H21～)。
- さとうきびの植え付けから収穫、そして、収穫したさとうきびで「じょうひもち」を作り、最後はお茶会の開催と、年間を通し学校との連携を図っている。
- 離農等により耕作されなくなった農地を組織で管理することで、遊休農地の発生を防止する取り組みを行っている。



令和2年度「かごしま農村創生塾」を開催

県では、地域資源を有効に活用して、「ひとづくり」や「しごとづくり」など地域の活性化を牽引するむらづくりリーダーを育成しています。

第1回 将来の人口予測からムラを考える(令和2年8月26日～27日)

- 講演 「田園回帰1%戦略～農村に人と仕事を取り戻す～」
 - ・講師 (一社) 持続可能な地域社会総合研究所
所長 藤山 浩氏

<主な内容>

暮らしに必要なものを自分たちの地域で生み出し、地域内で経済を循環させる。

- 参加者によるワークショップ(演習)
 - ・地域の人口の現状分析と将来の人口を推測
 - ・定住や交流人口増へ向けて、地域経済を循環させるための体制づくり、受け皿づくりなど具体的な取組を検討し、相互に発表



地域の人口の安定化へ向けた「シナリオ」完成

第2回 農村資源活用による地域活性化と地域の担い手づくり(令和2年11月20日)

- 講演 「農の兼業が育むこれからの時代のコミュニティ～多様な担い手による地域再生ストーリー～」
 - ・講師 NPO法人英田上山棚田団 (岡山県美作市)
理事 水柿 大地氏

<主な内容>

棚田の再生活動に取り組むとともに、棚田を通じた都市農村交流、古民家再生プロジェクトなど地区外からの人材の定住に向けた事業を展開。

「みんなの孫プロジェクト」を立ち上げ、農業や農村生活の課題解決支援への取組を実施。

- むらづくり取組事例紹介
 - ・北山校区コミュニティ協議会 (始良市)
 - ・田尻自治公民館 (長島町)



岡山県美作市上山地区の取組



パネルディスカッション

第3回 地域の取組事例に学ぶ (令和3年1月19日)

- 事例紹介Ⅰ：むらづくり活動の取組事例
高田村づくり委員会 事務局長 有村 光雄氏
- 事例紹介Ⅱ：地域資源を生かした美山地区の活性化
合同会社美山商店 代表 吉村 佑太氏
- 意見交換「地域活性化戦略の進捗状況と今後へ向けた取組」
 - (1) 各地区のむらづくりの取組状況
 - (2) 相互検討



事例紹介(美山地区)



意見交換

～ 塾生の声 ～

- ・具体的な内容が多く、事例をすぐに地域で参考にできる。
- ・地域でのきっかけづくりや継続した取組が必要だ。
- ・視察研修等で他地域との交流をしたい。

県では、多様な主体と農村集落とが連携して取り組むむらづくりの推進に加えて、都市と農村の交流などのグリーン・ツーリズム等の受入体制の充実・強化や農泊を持続的なビジネスとして実施できる体制を持つ地域の創出を図ることとしています。

農泊の推進

【農泊シンポジウムの開催】

新たに農泊に取り組む地域の機運醸成を図るため、観光との連携等優良事例研修会を開催しています。



【農泊実践研修会の開催】

持続的な農泊への取組を促進するため、地域内の異業種等との連携に向けた研修会を開催しています。



JR九州「ななつ星 in 九州」の取組事例紹介

インバウンド等の受入拡大

【農家民宿の開業促進】

旅館業法に基づく農家民宿の開業を促進するため、アドバイザーを派遣しています。



説明会の開催

【宿泊施設の確保及び資質向上】

コロナ禍における受入対策など、農家民宿開業者を対象とした研修会を開催しています。



研修会の開催

【モニターツアーの実施】

インバウンド等の受入拡大に向け、農村の魅力を発掘するためのモニターツアーを実施しています。

旅行者の安心・安全な受入態勢整備

体験型教育旅行をはじめ、一般客等の安心・安全で継続的な受入態勢づくりを進めています。



田植え体験



収穫体験

農泊実践者の育成

農泊実践者の育成を図るため、地域のマネジメント力、体験プログラムの企画、情報発信の手法等に関する研修会を開催しています。



体験プログラム企画のための現地検討

共生・協働のむらづくり通信 第14号(令和3年3月発行)

編集・発行: 鹿児島県農政部農村振興課

〒890-8577 鹿児島県鹿児島市鴨池新町10-1

TEL: 099-286-3108

鹿児島県ホームページ(むらづくり, グリーン・ツーリズム)

<https://www.pref.kagoshima.jp/sangyo-rodo/nogyo/noson/mura/tsuusin/index.html>